

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

いよいよ判決、東労組役員らによる脱退・退職強要裁判！

4年間の傍聴を振り返って

浦和電車区裁判総集編 シリーズ その4

東労組の脱退・退職強要事件の裁判（東京地裁）が、59回に及ぶ公判を終えいよいよ7月17日に判決を迎えることとなった。本紙はこの4年間の傍聴を振り返って浦和電車区事件の事実をシリーズで紹介することとした。

第8回公判（2003.9.19）

第9回公判（2003.10.7）

区長・副区長に対する主尋問と反対尋問

《浦和電車区の現場長が、「東労組のイジメ」を証言》

区長証言

【検察】東労組の掲示ビラに「組織破壊攻撃が発生した」と書いてあるが、区長としてどう思ったか。

【区長】私自身は、被害者が組織破壊行為をしたとは思わなかったし、除名になる事柄とも思っていなかった。

【検察】2月28日、被害者から脱退届が出されたわけだが、区長はどう思ったか。

【区長】組合に辞めさせられたと思った。被害者は何とか東労組との関係修復を願っていたと思う。長きにわたる東労組の言葉の暴力に対して屈してしまったのだと思った。

【検察】7月になって退職届が出されたが、区長として被害者の心境をどう思ったか。

【区長】年末からの組合問題で苦勞し、言葉の暴力を受け続け、勤務遂行が困難な状態になったことから、職場を去るしかなかったのだと思う。

副区長証言

【検察】東労組の掲示ビラの「組織破壊攻撃」について、副区長としてどう思ったか。

【副区長】私は組織破壊とは思わなかった。只かなり大きな問題になっていたと思った。

【検察】東労組脱退届に対して、副区長はどう思ったか。

【副区長】東労組の組合員からのイヤガラセがあったので、辞めたのだと思った。

【検察】7月になって被害者から退職届が出されたが、副区長はどう思ったか。

【副区長】東労組の言葉の暴力が原因になったと思う。2月に組合を辞めているのに、東労組は何でそこまでやるのかなと思った。

会社の労政の今後を示唆する注目された会社側証言だったが、区長・副区長とも『被害者が脱退や退職をしたのは、東労組の言葉の暴力が原因だった』とハッキリと証言した。しかし、弁護側の反対尋問に対しては、弁護側から事件の認知、管理者としての対応など詰問されると、『自分は知らない。聞いてない。退職届を見るまでは個人的攻撃だと思った。言葉による攻撃は被害者から聞いて判断した。抑止はしなかった』など、管理者としての責任逃れの証言に終始した。東労組の言葉の暴力はあったが、会社は見ても見ぬふり、何もしなかったと言うことを実証する証言でもあった。問題の本質は、東労組一辺倒の異常な労使関係にあるのであり、会社が東労組の「暴力的職場支配」を認知し、施設管理権や職場管理権を放棄していたことにある。